



## 県の学習定着度調査（2年生）を実施

10月2日（水）、2学年を対象とした本県の学習定着度状況調査が行われました。令和6年度から、調査対象が従来の教科「国語」から「英語」になりました。

考えてみますと、中学校の教育課程において、**授業時数が一番多い教科が実は「英語」**なのです。また、この2教科は全国と比べて得点率が低く、本県中学校の課題でもあります。どちらも積み重ねの教科であることから、小学校からの積み重ねがこれまで以上に大事になります。

さて、**中学校における国や県の学習状況調査は右の表のようになっていますが、中学校では、中1～中3まで国や**

**県による学習定着度の調査が継続して**行われており、常に授業改善にフィードバックしていく（PDC Aサイクル）仕組みです。だからといって、すぐに課題が解決し、右肩上がりに「学力」が伸びるかという、そう簡単にはいきません。

調査のねらいは、これまで学習したことの定着の度合いを把握し、そこから浮かび上がる学習指導上の問題点に対し、今後どのような取り組みが必要かを検討・改善していくことにあります。したがって、授業を進める先生、問題を解く生徒のどちらにとっても、課題を見つけ、それを克服するためにどうすべきかを考えるきっかけとするものです。結果が分かり次第、分析をし、授業改善に活かして参ります。

学年	名称	内容
中1	岩手県中学校新入生学習状況調査	・国語 ・数学 ・質問紙 ・(英検IBA)
中2	岩手県小・中学校学習定着度状況調査	・国語 → 英語 ・数学 ・質問紙
中3	全国学力・学習状況調査	・国語 ・数学 ・質問紙 ・(R5)英語 ・(R4)理科

## 秋・生徒も選挙です！

国政選挙が行われる今月。実は中学校では、**毎年10月に後期生徒会の役員選挙**が行われているのです。明日8日（水）はいよいよ投票日で、即日開票される仕組みです。国政選挙と同じように、選挙を行うためにはまず選挙管理委員会が立ち上げられ、その上で推薦人を条件に立候補者を募り、選挙運動を経て投票となります。**立候補者は11名で、全て信任投票**となります。

いよいよ1、2年生で、この学校を背負って立つ時がやってきました。

「人民の人民による人民のための政治」《government of the people, by the people, for the people》とは、**米国大統領リンカーン**

が1863年の演説で民主主義政治の原則を示したのですが、翻って生徒会とは生徒全員が加入する会であり、今度の投票は、その執行部を決める選挙です。ゆえに「**生徒の生徒による生徒のための生徒会**」を目指し、学校内だけでなく、国内、海外にも目を向け、チャレンジ精神をもって、生徒みんなで力を合わせて生徒会を創り上げていって欲しいと思っています。